

関西学連 2022年度スプリントセレクションに関する臨時総会 議事録

日時: 2022/7/4 22:00~25:20

場所: zoom

出席者(敬称略): 徳力、吉岡、菅、丸田、四宮(張の代理)、箕浦、高野、池田

文責: 吉岡春樹、箕浦夕紀、徳力雅哉

- 徳力: まずはじめに、この臨時総会そのものについての意見を取り扱う。

(意見1について)

「そもそも臨時総会を開催するのが学連メンバーの個人的な感情に流されていないかきちんと見直した上で個人の感情に流されることなく議論していただきたいです。」

- 徳力: 関西学連全体というより、自分の判断で臨時総会を開いた。第12条「この基準により対処できない事態の生じた時は、総会がこれに対応する」にもとづいて、スプセレの結果に対して納得できていない人が多いため、議論の必要があると考える。見方によっては幹事長の恣意的なものにとらえられるが、関西学連規約第12条に伴う権限的に開催可能と判断した。
- 徳力: 感情に流されない議論が必要。総会メンバーの意見について議論するときには本人は発言しない形式を取る。また、今回多数決は一切行わない。反対意見が出なくなるまで議論を続ける。

(意見2について)

「そのセレクションを採用するか否かにおいて、現役生が適当な判断を下せるかと言われると難しいと思うので、OB諸氏で構成された諮問委員会に全てを委任するのが良いと思う。」

- 徳力: 3学連が意見交換もしくは諮問委員会が意見交換するべきという意見がある。競技者が議論すると偏った議論になると考えられる。しかし、本臨時総会を開催してしまっている以上臨時総会開催自体を問うというのは不可能だ。そこで、関西学連としての結論を出した上で議論経過を書いた議事録(当文書)を諮問委員会に提出し、問題がないと判断されれば結論を発表する。
- 徳力: 裁定委員が認めているためこのままにすべきという意見が大半だった。まず選考に関わりの薄い客観的な人の意見を見ていく。

(意見3について)

「公式掲示板への記載で「立ち入り禁止区域に侵入した場合は原則として失格となりますが、競技としての公平性が保たれている場合は失格とはならない可能性がございます。」とあり、すべての話を聞いたわけではないのははっきりということではできませんが、この文言を基準に統一して判断したとすると、自分の聞いた限りでの今回の大会の結果は納得のいくものであると考えます。」

- 徳力: 論点は「立ち入り禁止エリアは原則として入ると失格だが公平性が保たれている場合は救済される」ということ。一度立ち入り禁止エリアに入っても侵入地点からもう一度出れば失格にはならないという解釈である。調査依頼の回答でもそのように発表されているので不平等ではないと判断する。
- 高野: 同じ意見。立ち入り禁止エリアに入っても同じ場所から出て、運営に確認してもらえばDISQとはならないのではないかと。
- 徳力: 不平等ではないと結論づけるのでよいか。
- 菅: 立ち入り禁止エリアを通ったが発覚せずに記録がついている人と、発覚して記録がつかなかった人で不平等が生じているということであったが、運営がその

不平等がなかったと発表している以上、学連がさらにこのことについて意見を言うのは難しいと考える。

- 徳力:賛成。

(意見4について)

(1)本大会で設定された立入禁止エリアは本大会特有のものではなく競技規則に定められているものであり、またその運用は適切であったとの裁定がなされていることから、本大会の結果がどうであれ、大会の存在そのものは選手権クラスの選抜として適切な内容であり、「セレクションとして不適切」であるとはいえない。

(2)セレ開催後に大会結果のみを根拠として「セレクションとして不適切」だったと判断することは、学連が特定の競技者の選考通過を意図し、選考結果を操作できることを意味するため、断じて許されない。

- 徳力:立ち入り禁止エリアに関して、調査依頼が出された点以外にも問題はあったが、提訴されていないので(1)の通りと考える。「学連が特定の競技者の通過を意図する」と捉えられることはありうるので、(2)についても理解した。
- 四宮:(2)に関して、DISQが多かったから臨時総会が開催されたわけではなく、今大会がセレクション大会とするか疑問に思う声があるから開催されているという認識で良いか。
- 徳力:その認識である。

(意見5について)

「回避出来ない立禁ではなく、セレクションを通過する事を目指すのならば読めて当然である。実際上位層は順当に通過しており、今年度のインカレで枠を獲得できる選手は十分に存在している。また、立禁をしっかり理解し今回のスプセレで結果を出した選手が後出しでエリートに出場する機会を失うのはおかしいと感じる。」

「そもそも開催されたスプセレ(調査依頼も用意されていた)を学連がエリート選出に利用しないという結論を出す事が出来るのかも気になります。」

- 徳力:反対意見は特にない。このセレをエリート選出に利用しないという決定に効力があるかは不明だが、議論自体は必要と判断する。

(意見6について)

「調査依頼・裁定委員の判断が終了したのかがわからない。それが終わったのならそれは競技が正式に成立したということ。よって上位6名を選出するのが妥当。」

「全員でもう一度走るのか、選出されなかった人に別枠を設けてもらうのか(全日本の枠とかあったような気がしたので)、DISC含めても6位以内に入っている人は選出として残りの枠をかけて走るのか」

「最終的に多数決になるのなら利害関係者(セレ通過に関わる人)は参加するべきではない」

- 徳力:調査依頼への回答、裁定は終了しているという認識で間違いはない。代替案に関しては後ほど議論する。今回は多数決による決め方はしない。

(意見7について、ご本人の希望により意見書は掲載しないが、おおむね他の意見と同様である)

- 徳力:全て同意である。

(意見8について)

「スプセレに出ていない人で判断してほしい(当事者は判断に加わるべきではない)

誘導の件は調査依頼すら出ていないのだから議論すべきではない。」

- 徳力:述べたように諮問委員会に確認していただく。議論が広がるということで誘導の件に関しては言及しないでよいか。

- 箕浦: 逆に裁定委員が出した結論に関して議論するのはどうなのか。むしろ調査依頼がでていないことは放置しても大丈夫なのか疑問。
- 高野: 調査依頼を出すことに慣れていない競技者が多くいるために調査依頼が出されていない事態があると思われる。本来競技者がすべきことだがそのリテラシーが欠けている事態について、調査依頼が出されていないからといって何もしないのではなく、(一部で言われている立ち入り禁止エリアが議論されていない状況が生まれているように)裁定委員が十分な情報を得ていないまま(運営者の独断で、裁定委員が判断の材料にする書面に書かれていないものがあるまま)判断してしまっているように見受けられたこともあり、しっかり議論するべきである。
- 丸田: 調査依頼までの時間が少なく、立禁以外にも言及しなかったができなかったこともある。
- 四宮: 細かい運営の不備は多々あったが、調査依頼がでていないということはその件に関して不利益を被った人が少なかったのではないか。競技不成立に関わる大きな問題があったのなら当日に意見がでていたのではないか。
- 徳力: 細かいミスは確かに多かった。しかし、出さなかったという事実につきると思われる。競技者が調査依頼に間に合わせられなかったということだと思う。
- 箕浦: 調査依頼が出せなかったということはそのルールに関して学生側が認識できていなかったということなので、インカレでも結局同じことになるのではないか。
- 池田: インカレにはオフィシャルがいる。
- 管: 平等にすべての疑問について裁定委員が審査できているかということに関しては裁定委員の結論がでている以上議論すべきではないのではないか。調査依頼をもう一度出すと言うことは難しいのではないか。
- 高野: 運営に対して調査依頼は出せないかもしれないが、話し合うことは重要ではないか。頭の片隅に今回出せなかった調査依頼のこともおいて議論することは大事だと思う。

(意見9について)

「オリエンテーリングの大会としては成立している。それを規約上関西学連としてセレと認めない権限はないはず」

「来年度以降のために不測の事態に備えた法整備をするのはいいと思う」

- 高野: 12条を周知する前にこれを書かれているのではないか。
- 徳力: 内容について了解した。
- 丸田: 法整備はロングセレまでにしないといけない。

(意見10について、該当する総会メンバーは沈黙)

「私は、今回のセレクションをインカレスプリントの選手権クラス選考に利用することに賛成します。理由としては、裁定委員の議論によって成立が確定したからです。」

- 箕浦: 裁定委員の決定に従うべきという意見である。
- 吉岡: 同意。

(意見11について)

「स्पセレに不満があるとの声を拾ったという事ですが、実際どれだけの声が上がっているのかが分かりません。勝手に事を大きくしているだけのように感じます。

①今回のस्पセレの結果でエリートを決めることに納得が言ってないという人の名前(人数)を具体的にあげて欲しいです。

②議題となるのはレースが適当であったか、ではなく、エリートを決める方法としてスプセレを用いるのが適当か、です。ボーダーにかかってないのにレースの不満を言っている人の声を拾ってエリート選出の議題にまで持ち込んでいるように感じるのでそこをはっきりして欲しいです。」

- 徳力:①について名前は出せない。成立した瞬間の人数を覚えている人はいるか。
- 高野:関西だけの人数なのか、運営のテントに集まっていたのは他の地区の人もいたので参考にするのは難しい。
- 徳力:当日の意見と今の意見で差もある。
- 丸田:両派の人数のアンケートをとるべきではないか。
- 徳力:②について、ボーダーにかかっていない人でも意見を出すのは問題ないと思う。
- 高野:ボーダーにかかっていない人がレースの成立に関して意見を言うのは違うのではないかという意見と思われる。
- 箕浦:最後の誘導の件や立ち入り禁止エリアを例に出すと、ボーダーに関係のない人の問題を混同しているのではないか。今回はセレという側面が大きいため、実際にセレに関係ある人に関してどのような調査に出したいような問題があったのかということを確認すべきということをお願いしたいのではないか。
- 高野:ラスポ前の誘導はボーダーに関係の無い人が実際含まれていたと認識している。
- 管:セレクションとしてふさわしいかを議論すべきであって、「これは知らなかった」といった初歩的な意見をエリート選出に適用するのはおかしい
- 箕浦:同意。
- 高野:この方が①で人数を聞かれていることを踏まえると、本人はセレに関してはそこまで不満に思っていないが、それを周りが勝手に本人もセレ結果に関して不満を持っているのではないかと捉えて問題を大きくしているのではないかということをお願いしたいのではないか。
- 四宮:アンケートとらなくても意見書を出してくれた人数でどうだろうか。
- 徳力:前日から意見書の提出を募集しているためそれは一理ある。

- 徳力:ここからは意見書の内容から選考に大きく関わっていると思われる方の意見をあげていく。

(意見12について、該当する総会メンバーは沈黙)

「やりなおしをするのかと言う点に関しては、どちらでもいい。やりなおしをするとするならば、1:スプセレの記録をどう扱うのか、2:インカレ本番でDISQをしても枠は取れない」

- 丸田:2の通りである。むしろ、これがあるからセレとしてこの大会を認めるべきと考える。

(意見13について)

「スプセレに関してですが、女子は立ち禁で失格になっていなくても上位3人は変わらないので、セレの結果をそのまま使っても良いのではないかと思います。」

- 高野:男子と女子に関して別の対応をすることは可能なのか。もし可能であれば女子はそのままが良いと考える。ただ、この大会がセレクションとしてふさわしいかどうかを考える議論であるから、それを考慮すると男女で違った大会にすることは難しいのではないか。
- 徳力:同意である。

(意見14について)

「そのままでもいいと思う。大勢のDISQが出たとはいえミスはミス。」

- 徳力: 了解した。

(意見15について、該当する総会メンバーは沈黙)

「(①個人として、②学連メンバーとして、③いちオリエンティアとしてそれぞれ意見を述べる。このセレを選考に用いないとなった時の意見」

・DISQを含めても順位が変わらない女子及び男子の上位2人は今後の如何に関わらずセレ通過として扱うべき」

- 高野: 上位2人だけを認めるというのは、本大会をセレとして認めるのかという議論をすべきという前述の意見と矛盾してしまう。
大会をやり直すということは、本大会がセレとして認めないという結論になったということであるので、その結果を一部としても用いることであればそれはおかしいのではないか。
もし、この大会をセレとして認めないという以外の理由でセレについてもう一度大会を開いたりするのであれば、男女で違った対応をするということと、上位2人について扱いを変えるということについて賛成。
- 菅: 立ち禁が不明瞭だからということでは不成立になるのであれば、立ち禁という要素をクリアしてしっかり選ばれた人たちは選出対象としても良いのではないか。
- 菅: 今回の立ち禁に関して問題になっているが、その立ち禁さえもちゃんとクリアできたかつタイム的にもペナの人含めても上位であるので、これは考慮したほうが平等である。
- 高野: 同意。
- 菅: これに関しては、セレを認めないと決めてから議論すればいい。

- 吉岡: 雰囲気的にセレを認めるという意見が多いように感じるが、反対意見を抽出して話し合った方が良いのではないか。
- 箕浦: 意見書を出してくださった人がいる以上、納得感を少しでも持ってもらおうという意味でも全員の意見書について議論したほうが良い。

(意見16について)

「・レース中に運営側から提示されたルール(特に立禁とか)を守りながらゴールしたのに、運営側の不備があったとはいえ、ルールを守らなかった人の意見が通って守った人間が評価されない、セレクションの結果が全く評価されないのは納得がいかない。

・今回の運営の不備で不利益を被った人を救済するならともかく、ポスト飛ばしとか隣ポパンチとかそういった運営の不手際と関係ないミスを犯した人や純粋に暑さ対策やトレを怠ってタイムが遅かった人まで救済されるのはおかしいと思う。

・失格者を含めてもゴールタイムがセレの通過順位内に収まっている選手は評価してほしい(難しいとは思いますが通過にしてほしい)、自分は全枠推薦とかになった場合(中略)通過できない可能性が高くなる。少なくとも1本セレに合わせて対策してきて一定の結果は出している、そこは評価してほしい」

- 徳力: 同意である。

「学連の恣意でセレのことを決められるのではないか」

「なんのための裁定委員か」

- 徳力: 恐らく自分に言われているが、そのように捉えられるのは仕方ない。
- 高野: 裁定委員は大会の成立について判定しているだけであって、セレとして妥当かどうかというのを判定しているのではないのか。あまり詳しくないので誰か知っている人がいれば教えて頂きたい。

- 徳力: 裁定委員は調査依頼が出たことについてしか裁定できないと思われる。セレについて妥当かの判定も依頼を出していれば叶ったかもしれない。
- 徳力: 以上でセレ成立に従う意見は終了である。続いて、どちらでもない方の意見を見る。

(意見17について)

「これまでに走り直しになったセレはあるのか？それを参考にできないか」

- 徳力: 後ほど議論するが、2017年度の関西スプセレに近い状況と思われる。

(意見18について)

「私としてはスプセレを選考として扱うことになろうと、そうでなかりうと関西学連の下した決定を尊重いたします。」

「スプセレで選考該当者を対象に以下のような優遇策を用意することを提案したいと思います。」

- 徳力: この方は通過者であり、この総会の決定に従うとのことである。「スプセレ結果の優遇」などの代替案の提示があった。
- 徳力: ここからは、今回のセレを選考に用いるべきではないという側の意見を見ていく。

(意見19について)

「立ち禁に入って有利を得ていない人は正式タイムにしているのではないか」

「かなり恣意的な意見にはなるが、セレ通過の実力がある人が落ちてしまうのは関西の枠を考えるとよくない」

- 吉岡: はじめに議論した内容と同様である。

(意見20について)

「スプセレが成立or不成立というのと、セレクションとして適切かどうかというのとは別として意見を述べる。境界の不明瞭さ、カラーコーン・テープが無かったといったことからセレとしては適切ではないのか。また、最終コントロール付近の誘導の曖昧さも問題であった」

- 高野: 紙面にはしていないが、カラーコーン・テープが無かったということに関しては他学連の方が運営に主張していた。
- 徳力: でも、書面には残っていない。
- 徳力: 誘導について、調査依頼を出さなかったというのは重要な事実だと思う
- 丸田: フィニッシュ誘導が不適切であるということを理由の一つとしてあげているが、ラップセンターを見る限りフィニッシュ誘導で迷ってタイムを落としている選手・その迷いによって順位を落とす選手はもともと不通過あるいは立禁侵入でDISQになった選手である。セレクションを不成立にするのに足る理由とはならないと考える。フィニッシュ誘導に不備があったのは事実。そこに関して不適切と認めた上で、ただしセレクションに影響はなかったと考えられる。

(意見21について)

「結論から申し上げますと、今回のセレクションの結果をインカレ選手権クラスの選考に用いるべきではないと考えております。理由は下記の2点です。

① 今回のセレクションが従来のセレクションの趣旨にそぐわない

② 過去のスプセレにおいて似たような事例で競技不成立になったケースがある」

「(②について) 今回のセレにおいて地図図式規定に違反している可能性があるのはjssom2007です。規定では、「既存の境界線がない場合の輪郭線については、現地にテープなどを使って連続的な掲示がなされている場合は実線で表す」とあり、今回のセレの上の18-19の間の立ち禁で

も立ち禁の境界は実線で描かれておりました。しかし、現地はコーンがあるだけで連続的に囲っているわけではなかったと思われます。」

- 吉岡: DISQというのも個人の實力であり、それを軽視しすぎた意見のように感じる。
- 徳力: 実線で表しているのにも関わらずテープが繋がっていないという点には同意だが、調査依頼を出せていない。
- 池田: そもそも、調査に間に合わなかったことをあとで議論するのは良くないのか。そこについて知らないので知っている人は教えて欲しい。
- 徳力: 議論はできるが、今から裁定委員に出すのは難しい。
- 池田: オリエンに当てはめて良いのかわからないが、裁判だと無実の罪に関して、新しく無実を証明できる証拠が出てきたらもう一度話し合えるが、オリエンの裁定に関してはどうなのか。自分はセレのボーダー関係者ではない中立の立場からの疑問だと思ってほしい。
- 徳力: 日本学連のSlackでも同様の議論をしたが、裁定委員が最高意思決定機関に感じられる。
- 池田: 日本学連に対しては、裁定に関する不服を申し立てるのか、セレとしての成立不服を申し立てるのか、どちらか？
- 徳力: 難しい問題である。
- 池田: 日本の裁判手続きが最も理想的だが、オリエンテーリングの組織はその下部組織でもないので当てはめる必要はないか。
- 丸田: この調査が出ていたら、不成立が通っていたのだろうか。
- 徳力: 可能性はある。
- 丸田: 2017年スプセレは調査依頼がきっかけで不成立となったのか。
- 徳力: そのようである。
- 四宮: 2017年は調査期間が当日13:00までであったが、日本オリエンテーリング競技規則24条2項「考慮すべき特別な事情がある場合」に則り数日間調査依頼を受け付けた。このときは少なくとも調査依頼が期限までに出たから不成立となった。
- 吉岡: 提訴に変えて「上訴」できるという資料を発見した。以下27ページ
<http://www.orienteering.or.jp/wp-content/uploads/2021/03/5c80b2c4b8be8aef1615d8a74afe9ce7.pdf>
- 高野: 調査の期間に関してJOAで決められている。これは、SNSで確認したもので確認はない。
- 四宮: 先ほど意見20にて名前が上がった方が調査依頼を提出する前に10個委員会の人に話をされたというのは2に当てはまるのではないか。
- 菅: 上訴は個人でするのか？学連でするのか？
- 徳力: 学連からは不可能だと考える。
- 高野: 記録に関する調査依頼速報発表から1時間以内にするとJOAにかかっている。ロングセレに関して調査期間を長くするなどの話が出ていたが、それは私達の範疇にない。
- 池田: 「記録以外の調査依頼」に関してはどうだろうか。
- 徳力: 逆に言えばDISQも記録にはいるのではにあか。
- 高野: 1時間は最低でも確保すべき。記録以外はむしろもっと早く締め切ってもよいというようにも読み取れる。
- 徳力: 上訴に関して学連としてはできることはないが、議事録を通して報告する必要がある。
- 高野: 上訴に関しての議論は以上で良いのではないか。

- 高野: 関西学連として、代案については詳しく議論する必要はなく、セレを認めないとなったときに話し合えば良い。この代案を頭においた上でセレとして認める認めないを議論し始めて良いのではないか。
- 丸田: この代案について後で変更するか? 例えば、③ペナの人に+1分の部分などは数字の根拠が曖昧なのではないか。
- 高野: そこに関しては上に上げるとなつてからの議論で良いのではないか。
- 丸田: 一応の確認だった。
- 高野: 上に上げるとなつたら後で代案については議論する必要がある。

- 徳力: では、全ての意見書に目を通し、議論し終えたので関西学連としてスプセレの成立不成立を認めるか認めないかを決めたいと思う。
- 吉岡・箕浦: 同意。
- 徳力: 本日の議論をまとめると、
 - ・今大会は、提出された調査依頼・提訴に対して筋の通った回答がされており、裁定委員によって成立が認められた。
 - ・調査依頼が出されていない点に関してもいくつか不備と思われる点があり、議論の余地は十分にあったが、調査依頼が出されなかった以上成立を覆す手段にはなり得ない。
- よつて、関西学連としては、「今回のセレ成立を覆すことはせず、インカレスプリント選手権クラスの選考として用いることとする(ただし、上訴などの手段によつて今後スプリントセレを不成立とするのに相応な大会運営の不備が公式に認定された場合はそちらに従う)」と結論付ける。反対意見のある人は述べてほしい。→なし
- 徳力: この議事録を諮問委員に提出し、この流れについて確認していただいた上で学連の結論として加盟員に周知する。